



大倉正之助

能楽囃子大倉流大鼓 重要無形文化財総合認定保持者
公益社団法人能楽協会会員 一般社団法人日本能楽会会員

室町時代より代々続く能楽囃子大倉流大鼓、小鼓の宗家に生まれ、父・大倉長十郎、祖父・大倉長右衛門より稽古を受け、9才で初舞台。

能楽の自主公演では翁附五流五番能の企画制作を自ら行い、且つ大鼓を一日全て一人で打ち納め、能楽史上、囃子方として初の偉業を成し遂げ成功を収める。

能楽の公演他、各国の首脳・VIP来日時等、首相官邸内晩餐会での演奏や、政府主催の音楽祭に参加、ローマ法王より招聘されバチカン宮殿内 においても演奏を披露。

東京ドームで行われたMLB(メジャーリーグベースボール)開幕戦オープニング式典での演奏、世界的巨匠、ピアニストのマルタ・アルゲリッチ、バイオリニストのイヴリー・ギトリスとの共演、その他各国アーティストとの共演等、国際文化交流の場でも活躍。

CM、ドキュメンタリー番組などメディアにも多数出演し、日本の素晴らしい文化を世界に向け、発信し続けている。

能楽体感ワークショップ

幼稚園や小・中・高等学校、又音楽大学のマスターコース等世界各国の教育機関で、能・鼓のワークショップを多数開催。これまでにないユニークな形態のワークショップをプロデュース。NHK『課外授業ようこそ先輩』や教育芸術社の高校音楽の教科書等メディアでも紹介された。

